さんまる

さんないまるやま　つうしん

三内丸山通信

第50号
平成22年 9 月 30 日
青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室
〒030－8540 青森市新町２丁目３－１
ＴＥＬ（017）734－9924
ＦＡＸ（017）734－8280
三内丸山遺跡縄文時遊館
〒038－0031 青森市三内字丸山 305
ＴＥＬ（017）781－6078
ＦＡＸ（017）781－6103
URL:http//sannaimaruyama.pref.aomori.jp/

さんまるミュージアムオープン

縄文時遊館に本格的な展示施設が完成しました。重要文化財の展示をはじめ、クリの木柱など、これまで公開できなかった多数の出土品を展示しています。楽しくわかりやすい展示を目指しました。

◆　◆　◆

入り口は「タイムスケールトンネル」となっており、一本の線で現代から縄文時代へとさかのぼっていきます。そこを入ると、縄文人の少年と犬が出迎えます。

展示室は左側が「縄文人のこころ」をテーマとして、重要文化財を中心に、遺跡の特徴的な出土品が並びます。「大型板状土偶」、「大型木柱」などが、薄暗い中に浮かび上がるようにライトに照らされて展示されています。

右側は「縄文人の生きる姿」と「縄文人のくらしをひもとく」をテーマとして、狩りや漁など、コーナーに分けて展示しています。展示品とともに、多くの等身大の人形で様々な生活の場面を再現しています。デジタルフォトフレームでは展示の解説をしています。

階段状に並べられた百三十点以上の土器、長さ十四メートルもの南盛土のはぎ取りは、遺跡の時間の長さを表しています。

さらに、竪穴住居も復元し、中の人形は当時の暮らしぶりや暮らしの道具などの様子も見ることができます。

重要文化財は約五百点、総展示数は千六百点以上となります。

展示の最後は「縄文文化展示」をテーマとし、三内丸山遺跡の最新情報や、世界遺産に関連した縄文遺跡群、県内の遺跡の情報など縄文文化全般に関する展示になっています。

【テープカットの様子】

【少年と犬】

新しい展示室のオープンに向けて、愛称を募集しました。八四十通以上もの応募があり、その中から「さんまるミュージアム」に決定しました。

◆　◆　◆

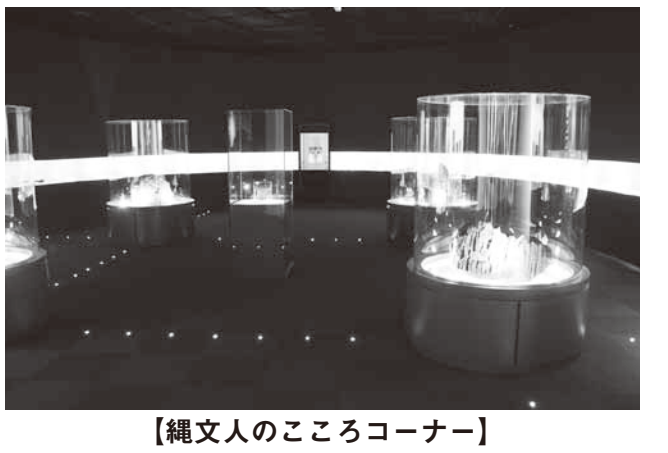
七月九日のオープニングセレモニーでは、初めに愛称「さんまるミュージアム」の除幕式が行われました。三村申吾青森県知事、橋本都青森県教育委員会教育長とともに、三内西小学校四年生の中嶋七海さん、三上彰護くんも除幕式に元気よく参加しました。

三村知事の挨拶、林光男「青森県の縄文遺跡群」世界遺産をめざす会会長の祝辞、来賓紹介（長尾忠行青森県議会議長、高樋憲青森県議会文教公安委員会委員長）に続いて、三内西小学校四年生中村寿美花さんも参加してテープカットが行われオープンを祝いました。

その後、セレモニーに参加した方々が、続いて一般の方々が「さんまるミュージアム」を見学しました。

「さんまるミュージアム」の完成で、屋外の遺跡、室内での出土品と、遺跡の情報を総合的に公開することができるようになりました。

ぜひ皆さんも三内丸山遺跡に広がる縄文世界をごらんください。


【縄文人のこころコーナー】

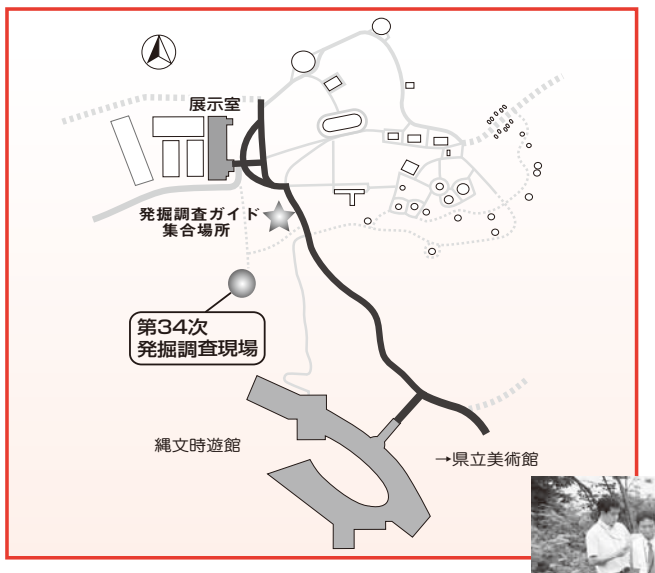
【多数の土器】

発掘調査進行中

五月二十六日から遺跡の西側に位置する西盛土（にしもりど）で第三十四次発掘調査を行っています。

調査の場所

縄文時遊館から遺跡の中心部へ向かう園路沿いの左手に、小高い雑木林の丘があります。平成六年の試掘調査で、この丘の北側の部分に大量の土器・石器、土偶や装身具、赤土（ローム）などが捨てられた「西盛土」がみつかりました。その広がりは東西六十メートル、南北百メートル以上で、遺跡内に確認されている盛土の中では、最も大きな盛土です。今年は、西盛土の南側にあたる丘の頂上付近で発掘調査を行っています。



調査の目的

昨年は、盛土の北側を発掘し、縄文時代前期末（約五千年前）から中期末（約四千年前）頃までの約千年間の地層の重なりや、盛土の近くに見つかっている竪穴住居の時期などを確認しました。今年は、盛土南側の範囲や地層に含まれている遺物の年代、盛土の近くで確認されている道路跡との関係について詳しく調べる予定です。また、地層の中に含まれている小さな炭の種類や、捨てられている赤土（ローム）がどこから運ばれてきたのかについても調査します。

今年も新たに盛土の中から子どもの墓が三ヶ所見つかっています。昨年の調査でも盛土の中から子どもの墓が多くみつかりました。今後の調査で、盛土の成り立ちと亡くなった子どもの墓との関係についても調査を進めていきます。

【発掘調査委員会委員による現地指導】

【発掘調査の様子】

【今年新たに見つかった子どもの墓】

調査の公開

発掘調査は、土・日・祝祭日を除いて毎日実施し、午後五時まで公開しています。六月二十二日からは、発掘調査を担当する職員が現場を案内し、調査の様子を解説しています。午前十時半までに時遊トンネル左手園路沿いにある発掘調査現場入口までお集まりください。なお、天候によっては中止とする場合もあります。

発掘調査の公開

土・日・祝祭日を除く
平日午後５時まで

現場ガイド

午前10時半までに
時遊トンネル左手園路沿いにある
発掘調査現場入口に集合。

※天候によっては中止とする
場合もあります。

縄文教室・縄文講座

多くの方々に縄文時代に対する興味・関心を抱いていただくために、体験学習「三内丸山縄文教室」と「三内丸山縄文講座」を開催しています。

「三内丸山縄文教室」は縄文時代と同じ材料を使って、針などの道具を作ったり使ってみる教室です。十月以降は、鹿の骨を使った釣針作りと魚釣り体験、石斧による立木の伐採体験教室を行います。小学三年生以上ならどなたでも参加可能です。

「三内丸山縄文講座」は三内丸山ムラの自然とその利用をテーマとし、全五回行います。すでに「三内丸山ムラの自然環境」、「現代の森と縄文時代の森について」と遺跡見学、「森のめぐみ」と木の実の加工体験を行い、秋以降「縄文人の木材利用」と木こり体験、「縄文人の食」と調理体験を行います。こちらは高校生以上が対象となります。

参加無料となっておりますので、お気軽に御参加下さい。

お問い合わせ先 TEL017-781-6078

三内丸山遺跡のご案内

休館日
12月30日～1月1日

見学料
無料

遺跡の開館時間
6月～9月は9時～18時
10月～5月は9時～17時
（入場は閉館の30分前まで）

ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から
その後は10時から1時間ごと、最後は16時から
※10/1～3/31は最後は15：30から

見学の問い合わせ先　017－766－8282（三内丸山応援隊）

交通機関
青森市営バス
JR青森駅から②番乗り場「運転免許センター」行き、
三内丸山遺跡前で下車　料金300円